

## 広域化により大きく強化された消防力

栃木県 那須地区消防本部

### 1 那須地区消防本部の概要

那須地区消防本部は、大田原地区広域消防組合消防本部（大田原市、那須塩原市(旧西那須野町、旧塩原町)）と黒磯那須消防組合消防本部（那須塩原市(旧黒磯市)、那須町）を統合し、2市1町で組織する消防組合として平成27年10月1日に発足しました。

管轄区域は、栃木県の北東部に位置し、北は福島県、東は茨城県に隣接しており、北部には那須連山の山並みがそびえ、中央には鮎の漁獲量日本一の一級河川、清流那珂川が流れ、避暑地として皇族をお迎えする那須御用邸を始め、那須温泉や塩原温泉郷などの日光国立公園の一部を抱える観光地とゴルフ場やスキー場が多数存在する自然環境に恵まれた地域です。

また、国道4号、東北自動車道の西那須野・塩原インター及び那須インター等、東北新幹線の那須塩原駅を有し、首都圏からも150kmと交通網も充実しています。

管内人口は約22万人、面積約1,319km<sup>2</sup>に1本部4署5分署を配置し、職員数325名(定数)の体制で災害に対応しています。

管内区域図



### 2 広域化に至る経緯

平成18年の消防組織法の改正を受け、栃木県では平成20年8月に消防広域化推進計画を策定し、その計画に沿って県内の13消防本部を1消防本部にすることを目的として、栃木県消防広域化協議会が平成21年5月に発足し協議を行っておりましたが、解消困難な課題があったことなどから、消防救急デジタル無線(共通波)共同整備を除き広域化の協議は休止となりました。

そのため、東日本大震災により大きく被災した旧大田原地区の消防本部庁舎の移転新築計画が進む中、老朽化の激しい旧黒磯那須消防本部の建て替え、平成17年の市町合併により那須塩原市が2つの消防組合を組織する変則的な体制の解消、多額の整備費用を必要とする消防救急無線のデジタル化及び高機能消防指令システムの導入など、財政負担の効率化が喫緊の課題であることなどから、生活圏や地域的な結びつきが強い那須地区という枠組みにおいて、これまで以上に、火災・事故を始め、地震や風水害などの大規模災害等に対応できる消防組織を新たに構築し、住民サービスの向上や消防力の連携強化及び消防に関する行財政運営の効率化と基盤強化が必要であるとされ、平成24年4月に那須地区（2市1町）の広域化の協議について議題が提起され、2消防組合の統合に向けた調査研究を進めることで3首長により合意がなされました。

その後、平成24年9月に提出された調査研究報告書により、2消防組合を統合することについても合意がなされ、平成25年4月に那須地域消防広域化協議会が設立されました。

広域化に向けて協議会・幹事会等で調整を図る中、平成26年9月の協議会において那須地域広域消防運営計画が承認され、平成27年3月の関係市町の議会におい

て、旧消防組合の解散と新消防組合の設立についての議決及び栃木県知事の許可を経て、平成27年10月1日に「那須地区消防組合及び那須地区消防本部」が誕生しました。



那須地区消防本部庁舎竣工式典

その間、平成24年10月に隣接する南那須地区広域行政事務組合消防本部及び塩谷広域行政組合消防本部から消防指令事務の共同化について申し入れがなされ、平成24年11月に消防指令事務の共同処理に関する協定を締結し、高機能消防指令システム、デジタル無線の共同運用に向け準備委員会等で調査検討を行い、那須地区消防組合発足と同時に「栃木北東地区消防通信指令事務協議会」が法定協議会として発足し運用を開始しました。



平成27年10月から運用を開始した  
那須地区消防本部・大田原消防署庁舎

## 3 広域化の効果

### (1) 現場到着時間の短縮及び初動体制の強化

高機能消防指令装置の整備により、災害場所の特定、出動部隊の編成が速やかに行われ、また、直近の署所から行政区域を越えての出場が可能となったため時間短縮がなされ、さらに、統合により部隊が増隊したため初動体制及び各署所間での応援体制の強化が可能となりました。

### (2) 財政負担の効率化

消防指令センターを3消防本部で共同運用することにより財政負担が軽減されました。また、今後、計画する庁舎及び特殊車両等の整備において、車両の適正配置や重複している車両の見直し等を行うことで経費の軽減が見込まれます。

## 4 おわりに

消防組合の統合、消防本部庁舎の移転新築、消防指令事務の共同化と3つの大きな事業が並行して行われたことは、全国でも珍しく、各事業の検討調整に関する事務量の多さは突出しており、知識経験に乏しく担当した職員にあっては非常に苦労がありました。また、視察等を受け入れていただき御指導いただきました消防本部の皆様がこの誌面を借りて厚く御礼申し上げます。

広域化されてから1年、課題も多々ありますが我々消防に課せられた期待は大きいものがあり、その負託に応えながら地域住民の安全と安心を守るため、職員一同職務に取り組んでまいります。